



土を掘った。
「むかし」があった。



二又第一遺跡 発掘調査体験セミナー

「埋蔵文化財の発掘調査を行っています。」

……こんな看板を見たことはありますか？

遠目は普通の工事現場。でも近くでこっそり覗いてみると、あれ？なんだか違うかも。発掘調査とは、地中に埋まっている昔の人々の痕跡を見つけ、記録や保存をおこなうこと。埋蔵文化財センターでは、公共工事や大規模な開発事業がおこなわれる際の緊急発掘調査や、すでに文化財として登録されている史跡の調査、多くの方々に公開するための整備を目的とした調査を行っています。

今回の埋文やまなしは、令和4年度に発掘された最新の調査成果と文化財を活用した取り組みをご紹介します。

令和4年度 最新発掘情報

発掘調査遺跡の場所



こいかわしせき 小井川遺跡

ところ 中央市布施地内
じだい 古墳・中世～近世

布施地区は古代から「布施荘」として開発がおこなわれ、江戸時代以降は、甲斐から駿河に通じる河内路や、市川道の主要道が交差する要所でした。

今回の調査では、中世の土師器皿、漆碗や下駄などの木製品、五輪塔の一部が出土しています。また、古墳時代終末期の坏や甕などの遺物も出土しており、昨年度に調査した地点や、一昨年度に調査した中央市の上三條河原遺跡などの近隣の遺跡と同時代のものであると考えられます。

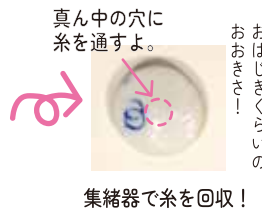


ごじんやしせき 御陣屋遺跡

ところ 市川三郷町市川大門地内
じだい 中世～近代

市川大門地域は古代には有力寺院の平塩寺や源義清の本拠があった場所とされ、江戸時代には市川代官所が置かれるなど峽南地域の政治経済の中心地でした。この遺跡では、中世の遺物や炉跡などの遺構が検出されました。

また、江戸時代後期の土器集積や、明治末期創業の製糸場に伴う遺物である線糸鍋（繭を煮る鍋）や集緒器（繭の糸を数本合わせて生糸を作る機械）が出土しました。中世から連続と続く人々の営みが確認できます。



いけだしんめいしせき 池田神明遺跡

ところ 菅吹市石和町
じだい 中世



菅吹市石和町、特に古くからの集落である唐柏や小石和の中間のエリアに立地する遺跡です。およそ600年前のかわらけと呼ばれる器やすり鉢、鍋などが出土しています。また、その地層の底面からは畑の畝の跡が直線距離で約220メートルの範囲全体に発見されました。現在の地表面までの地層の観察からは、たび重なる洪水の跡と、その洪水の間に繰り返し畑や水田が造営された様子がわかりました。川に近い低い土地で、水害の被害を受けやすかったこの地域の特徴をよく表していると言えます。

(※その他の発掘調査情報は、「埋文やまなし第67号」に掲載しています。)

もっと知りたい！発掘調査

埋蔵文化財センターでは、発掘調査中の遺跡を公開し、どのような遺跡なのか、発掘調査をすることで何がわかるのか等を知ってもらうための発掘現場説明会や、実際に発掘をおこなってもらう発掘調査体験セミナーを開催しています。詳細はHPに掲載されますので、チェックしてみてください！



愛宕山石切場跡は現在非公開ですが、歴史を学びながら憩いの場として活用できるよう、整備をおこなっていく予定です。

こ ぶ じょう が まち い せき **ところ** 甲府市中央5丁目地内
甲府城下町遺跡 **じだい** 近世

調査地点は、甲府城下町の南東端の、町人地であった場所にあります。令和3年度には、調査地点の南側から、船着場と想定される遺構が検出されています。今回の調査の結果、江戸時代に確実に遡る遺構は発見できませんでしたが、明治時代以降と考えられる遺構・遺物が出土しています。特に、東西方向に延びる木製構造物は、水を流した木樋のような用途と想定され回転するノコギリで切断された痕跡があり、明治時代以降につくられたと考えられます。出土遺物は、黄瀬戸の鉢や、織部焼の鉢、煙管などがみつかっています。



出土した織部焼の鉢



木製構造物の出土状況

し せき こ ぶ じょう あ と が ん れん い し き り ば し ょ う さい ぶ ん ぶ ち ょ う さ
史跡甲府城跡関連石切場詳細分布調査

あ た ご や ま い し き り ば あ と **ところ** 甲府市愛宕町85-2 **じだい** 中世～近世
愛宕山石切場跡

史跡内にある池の西側の発掘調査では、近代と考えられる土坑やコンクリートブロックを含む石積み、時期不明の溝を検出しました。この溝は昨年度発見したものの続きと推測されます。さらに、池の土砂搬出に伴い調査をおこないました。深く堆積した土砂の中から安山岩の破片が大量に出土する状況から、石を割った際に出た破片を池へ捨てた可能性が考えられます。見つかった遺物の多くは近代のものですが、近世の陶磁器や木製品も確認しました。



愛宕山石切場跡池内全景

お お さ わ さ い せ き あ と み の ぶ さ ん く お ん し ほ だ い て い さ い せ き じ ょ う で ん し ょ う ち **ところ** 身延町下山3826ほか
大沢採石跡 (身延山久遠寺菩提梯の採石場伝承地) **じだい** 近世

愛宕山石切場跡と同時期に採石された可能性があり、県内の土工技術を広く調査するために調査をおこないました。現地には約5mの岩に幅約二寸の矢穴列がいくつも並び、石を割り出そうとした痕跡が残っています。



矢穴の残る石→



か く し ゅ ち ょ う さ **各種調査**

甲府市内における石切場跡の分布調査や古文書の調査、近代の土工道具の調査を実施し、石切場の様相を明らかにできるよう努めています。

し せ き こ ぶ じ ょ う あ と う ち ぼ り **史跡甲府城跡 (内堀)**

ところ 甲府市丸の内一丁目49番ほか **じだい** 中世～近世

史跡甲府城跡では、令和3年度に策定した「史跡甲府城跡整備基本計画」に基づき、整備をおこなっています。その一環として、大手門の東側にあたる内堀の復元を予定しています。

今回の調査では、石垣の根石下に敷かれた胴木や、その下に差し込む形で直交する方向に設置された木などが確認されました。この地点は地表下9メートルほどのところに岩盤が確認されており、地盤がかなり不安定であると考えられます。地盤の悪い場所に石垣を積むための工夫と言えるでしょう。



設置木が礫(小さい石)でしっかりと固定されている。

杭で地面に固定されている。

check! 甲府城の石垣については、山梨県庁・石垣展示室内でも詳しく紹介しています!

史跡整備

いし がき い じ かん り し ぎょう 石垣維持管理事業

甲府城跡の見どころのひとつは、何ととっても高くそびえる石垣。甲府城跡は、築城されたころの石垣が良く残っている全国的にも貴重なお城です。この石垣を守るため、当センターでは、毎年「石垣維持管理事業」として、石のゆるみや崩落の危険がないか、地震や大雨で石が動いていないかなどの点検をおこない、専門家の指導のもと、必要な場所を修補修しています。今年度は、天守台石垣の点検と、補修について検討をおこないました。

高所作業車を使って、高いところの石もしっかりと確認します。



点検のようす

石垣の落がき除去作業をおこないました。

甲府城跡の石垣は、年間を通じて定期的な目視点検をおこなっています。その中で見つかった石への落がきを消す作業を実施しました。幸い、今年度は石などで深く傷つけられたものはありませんでしたが、落がきを消したことで表面の色が変わってしまっている石もあります。

落がきダメ！絶対！



落がき除去作業のようす

令和4年度 文化財活用情報



今年度も、おかげさまでたくさんのイベントを開催することができました。ご参加いただいた方、ありがとうございました！

ひらけ！玉手箱

甲府城跡や石垣について知ってもらうため、本物の石工さんたちと一緒に昔の石の運び方や積み方を体験するイベントを開催しました！



☆山梨県石材技能士会の皆様にご協力いただきました！

めざせ！古墳マスター！

曾根丘陵公園内にある古墳を巡りながら、古墳時代について学ぶことができるクイズラリーイベントを開催しました！



古墳時代のお馬さん！



プレゼントした貝剣と勾玉

マチナカ博物館

現代の道具と縄文時代の道具を一緒に見てもらいながら縄文時代の生活をちょっと体験してもらうイベントを開催しました。静岡県からは、特別ゲストとして弥生時代の遺物にも出張していただきました！



静岡県でも文化財交流イベントをさせていただきました！



縄文文様スリーブづくりのようす

出前支援事業

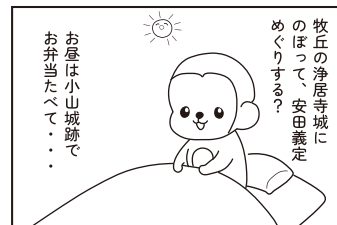
当センターでは、職員が県内の学校へ出張し、児童・生徒さんと共に勾玉づくりや土器づくり体験等をおこなう出前支援事業を実施しています。今年度も多くの学校にお邪魔し、歴史を肌で感じる体験をしていただきました！

※出前支援事業・考古資料の貸出は、HPから随時受け付けています。



たくさん土器を焼きました！

しろのすすめ



☆お城は明るい時間に明るい服装で登りましょう。「やまなし城・居館めぐりのススメ」1・2、県内各所で配布中！

編集後記

出前支援事業で学校へお邪魔させていただくと、興味津々で授業に取り組んでくれる児童・生徒さんたちがたくさんいます。この興味を伸ばすお手伝いをするためにはどんな努力ができるのか…？と、私の方が毎回たくさんのことを学ばせてもらっています。(み)

埋文やまなし 第68号
発行 山梨県観光文化部 埋蔵文化財センター
〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923
☎ 055-266-3016
印刷 株式会社峡南堂印刷所



HPはこちら